

平成19年度
農林水産情報交流ネットワーク事業 全国アンケート調査
経営する農地の拡大・縮小に関する
意識・意向調査結果

この調査は、平成20年1月上旬から中旬に、農林水産情報交流ネットワーク事業の農業者モニターのうち、経営部門が施設栽培及び畜産の者を除く1,505名に対して実施し、1,319名から回答を得た結果である。

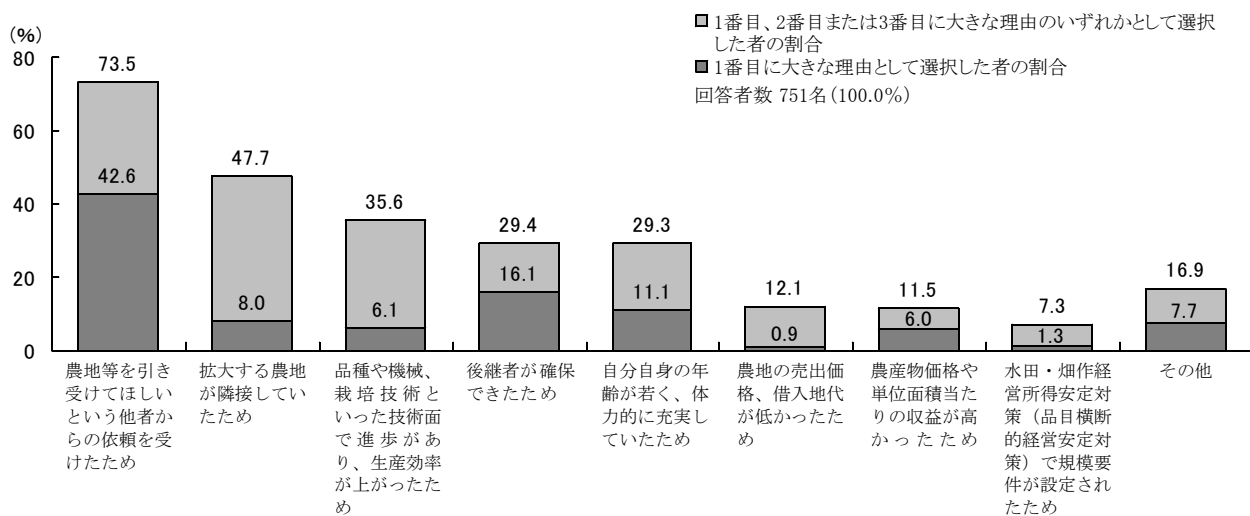
【調査結果の概要】

1 経営する農地の規模を拡大した理由

－「農地等を引き受けてほしいという他者からの依頼を受けたため」が7割－

本調査回答者1,319名のうち、過去10年間に経営する農地の規模を拡大した者751名の規模を拡大した理由は、「農地等を引き受けてほしいという他者からの依頼を受けたため」が73.5%と回答率が最も高く、次いで「拡大する農地が隣接していたため」が47.7%、「品種や機械、栽培技術といった技術面で進歩があり、生産効率が上がったため」が35.6%であった。

図1 経営する農地の規模を拡大した理由（複数回答）

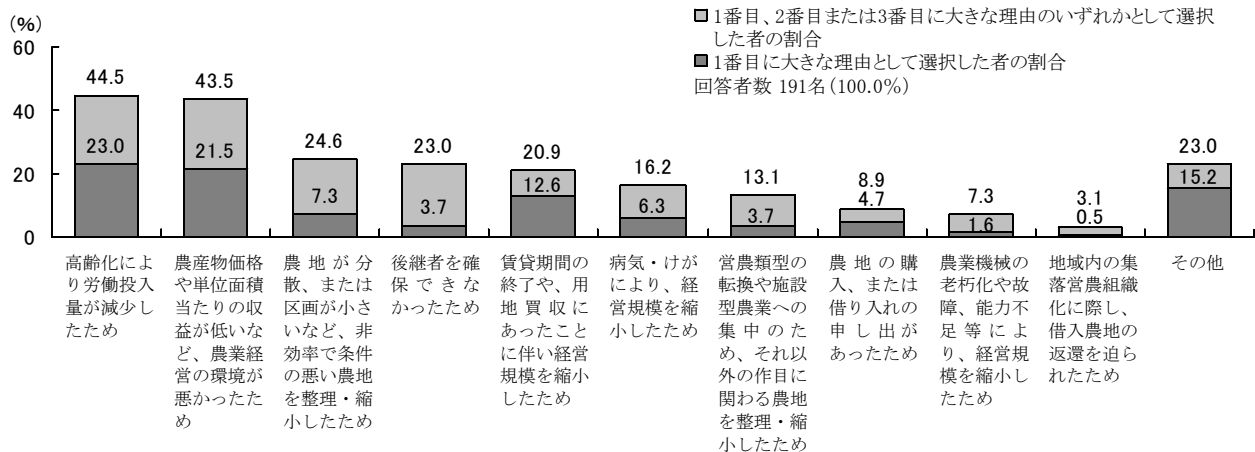


2 経営する農地の規模を縮小した理由

- －「高齢化により労働投入量が減少したため」及び「農業経営の環境が悪かったため」がそれぞれ4割以上－

本調査回答者1,319名のうち、過去10年間に経営する農地の規模を縮小した者191名の規模を縮小した理由は、「高齢化により労働投入量が減少したため」が44.5%、次いで「農産物価格や単位面積当たりの収益が低いなど、農業経営の環境が悪かったため」が43.5%であった。

図2 経営する農地の規模を縮小した理由（複数回答）

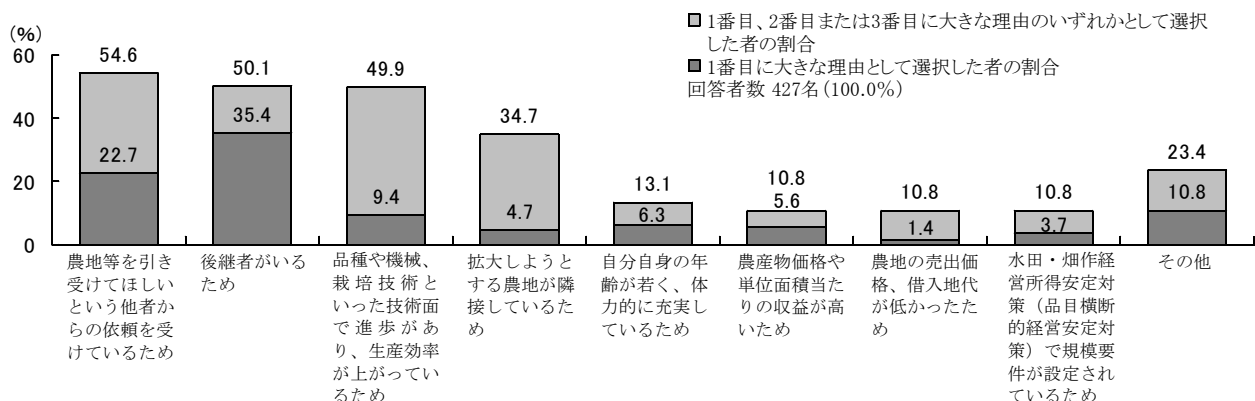


3 今後、経営する農地の規模を拡大したい理由

- －「農地等を引き受けてほしいという他者からの依頼を受けているため」が5割以上－

本調査回答者1,319名のうち、今後、経営する農地の規模を拡大したいと考える者427名の規模を拡大したい理由は、「農地等を引き受けてほしいという他者からの依頼を受けているため」が54.6%と回答率が最も高く、次いで「後継者がいるため」が50.1%、「品種や機械、栽培技術といった技術面で進歩があり、生産効率が上がっているため」が49.9%であった。

図3 今後、経営する農地の規模を拡大したい理由（複数回答）

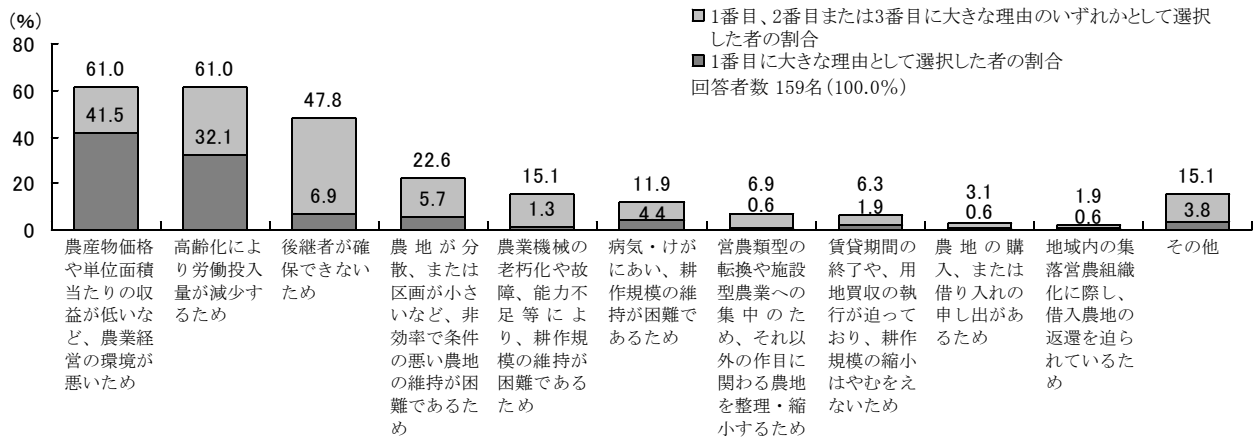


4 今後、経営する農地の規模を縮小したい理由

－「農業経営の環境が悪いため」及び「高齢化により労働投入量が減少するため」がそれぞれ6割－

本調査回答者1,319名のうち、今後、経営する農地の規模を縮小したいと考える者159名の規模を縮小したい理由は、「農産物価格や単位面積当たりの収益が低いなど、農業経営の環境が悪いため」及び「高齢化により労働投入量が減少するため」がともに61.0%と回答率が最も高く、次いで「後継者が確保できないため」が47.8%であった。

図4 今後、経営する農地の規模を縮小したい理由（複数回答）

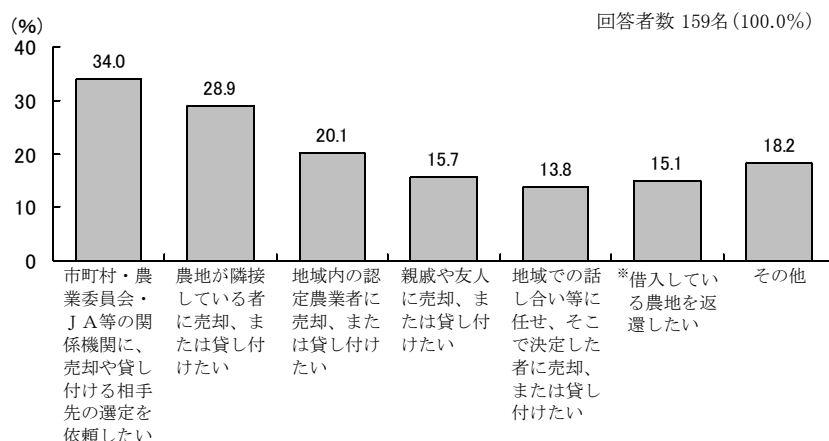


5 今後、経営する農地の規模を縮小する場合、その農地をどうしたいと考えるか

－「市町村・農業委員会・JA等の関係機関に、売却や貸し付ける相手先の選定を依頼したい」が3割以上－

本調査回答者1,319名のうち、今後、経営する農地の規模を縮小したいと考える者159名が、規模を縮小する場合、その農地をどうしたいと考えるかは、「市町村・農業委員会・JA等の関係機関に、売却や貸し付ける相手先の選定を依頼したい」が34.0%と回答率が最も高く、次いで「農地が隣接している者に売却、または貸し付けたい」が28.9%であった。

図5 今後、経営する農地の規模を縮小する場合、その農地をどうしたいと考えるか（複数回答）



※「借入している農地を返還したい」については、「その他」を選択した者のうち、具体的記述として同主旨の回答をした者について、「その他」から分離して集計した。